

永井威三郎 （おとせい） 青種學者、農學博士。明治二十年十一月十八日東京生れ、昭和四十六年九月十四日歿（八七—一九七二）。號大杉閣散人。永井尚風の弟。東京帝國大學農科大學實科卒。明治四十一年歐米紐學、大正八年東京專試試驗場技師、昭和十年東京高等農林學校教授、うち日本大學教授。稻の遺傳研究に當る。

著書『米と食糧』（昭和十六年十月十五日初田書店）『生活の科學新書』（、隨筆『水陰草』（昭和十七年十月一日櫻井書店）、『日本の米』（昭和十八年一月二十五日大日本雄辯會講談社）『少國民の日本文庫』（、『太平洋民族學の開創海軍大佐松岡靜雄』（合著・小西千比古編、昭和十八年五月二十五日南洋經濟研究所出版部）『南洋資料』（、『隨筆野菜籠』（昭和二十一年八月十四日天然社）、『穀物の話』（昭和二十二年八月二十日敦文堂新光社）『子供の科學文庫』（、『種々の（の）』（昭和二十四年一月十日發育社）『教養文庫』（、『第ニ稻の日本史』（合著・盛永俊太郎編、昭和二十二年十一月十日農林省農業総合研究所）、『平民誌記』（昭和四十年一月一日星書房）等。